

たんぽぽだより



2018年4月号

たんぽぽの保育目標

生きる力をはぐくむ(10年先を見すえた保育)

自分で考え 自分で行動できる人
ひとに優しい人
誰とでも仲良しになれる人
いのちを大切にする人
感謝の出来る人

桜の花も満開になり、すっかり春ですね。平成30年度が始まりました。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

土曜日の説明会はありがとうございました。まだ聞いていない方は、後日行いますのでよろしくお願いいたします。

さてたんぽぽでは、自己肯定感を高める保育を行います。0歳～5歳までは人としての根っこ・土台作りの時期です。樹も、ビルも見えていませんが、根っこ・土台がしっかりしていないと大きくなりません。見えている部分よりも、見えない部分がどれだけしっかりしているかと言う事がすごく大事です。

目の前に見える子どもの姿も大事ですが、その根っこ・土台には何が必要なのか？

《私は大事な存在であり、そのままで素晴らしい存在なんだ。》

という自己肯定感がしっかりとあることが大きな根っこを育てます。その為には、【ありのままのわたし】を無条件(たとえ悪い事をしたとしても)に受け入れてくれる存在が必要なのです。どれだけ子供が愛情を感じているかと言う事が大事なのです。

つい大人は子どもが言う事を聞かないと怒ってしましますが、「言う事を聞かないと愛してもらえない」という感情が芽生える事だってあります。またそれは大人のコントロール願望とつながってきます、大人の言う事を聞く子を育てたいのではなく、自分で生きていく力を育てるのが、目標ですよね。

コントロール願望についてはまた後日お話ししましょうね。

保育サロン
たんぽぽ

今月の目標：新しい環境の変化に慣れる

ねらい:担任の先生と仲良しになる

春の暖かさを感じ、生き物たちも出てくるので季節の変化や、生き物のいのちを感じる。

もも組【1歳児】:新しい環境に慣れ安心して過ごせるようにする。保育者に見守られながら、好きな場所や遊びを見つけ機嫌よく遊ぶ。

ゆり組【2歳児】: 基本的な生活習慣を身につけ、自分の思いを言葉で表出できるようになる。自分の好きな遊びを楽しみ、のびのびと体を動かして丈夫な体づくりをする。

さくら組【3歳児】:新しい環境でも、保育者と一緒に身の回りをしていく中で、やり方がわかり、やろうとする。友達や保育者と関わりながら、一緒に遊ぶことを楽しむ

4月の保育内容

もも組: 保育者とスキンシップを十分に取りながら、ゆったりと過ごす。保育者と一緒にトイレに行き便器に座ることに慣れていく。友達の遊びに興味を持ち、保育者や友達と一緒に歌を歌ったり、手遊びや言葉の繰り返しを楽しむ。園庭の固定遊具で遊ぶことを楽しむ。落ち着いた雰囲気の中で喜んで食事をする。

ゆり組: 要求や不安を保育士に受容してもらい、安心して自己が表せるようにする。手洗いや手拭き、歯みがきを自分でする。保育士に見守られ、安心して過ごす。自分の持ち物を覚える。身近な自然物に興味を示し、名前を知ろうとする。手遊びや歌を通して、言葉の響きを楽しむ。クレヨンを使ってお絵描きを楽しむ。楽しい雰囲気の中で食事をする。自分で食べようとする気持ち大切にしながら、援助していく。

さくら組: 進級したことに喜びや期待感を感じ、安心して園生活を送れるようにする。戸外遊びから戻ったら、自分から手洗い・うがい・着替えを行う。ままごと遊びを友達と一緒に楽しむ。春の自然子どもの日や母の日の製作を楽しみながら、行事への関心を高め、感謝の気持ちを表現する。に興味を持ち、身近に感じる。「どうぞ」や「ありがとう」のやり取りを楽しむ。楽しい雰囲気の中で、友達と一緒に食事をする。準備や後片付けの仕方を知る。

平成30年度保育サロンたんぼぼ職員

園長: 谷口真紀子

副園長: 瀬之口恵美

つぼみ組担任: 田島結香

もも組担任: 西首友子

ゆり組担任: 田川明美

さくら組担任: 小深田愛子

サポート保育士: 山口由美子・宮崎紀子・真子優希(産休中)

給食: 宮崎志織

事務兼保育補助: 谷口佳代子 保育補助: 中川美保子(休職中)